

令和7年度秋期博士学位論文審査における剽窃チェックツールの使用時期、実施者、使用方法について

	実施時期 (今年度の日程)	実施者	剽窃チェックレポート取り扱い、保存及び提出方法
前準備	予備審査委員申請書提出時 (10月中旬)	主任指導教員・ 論文審査委員会主査	剽窃チェックツールiThenticateの利用申請を行う (「剽窃チェックツール利用申請書」を西千葉地区事務部研究推進課 (nishi-rinri@chiba-u.jp)に提出)。
1回目	予備審査開始前	主任指導教員	・レポートファイルを印刷し、盗用・剽窃の疑いがないかを確認。 ・チェック結果を本人にフィードバックして、必要があればチェック結果に対する本人の説明文書を提出させること。 ・レポートファイルには、主任指導教員が日付の記入と署名、捺印をして保存する。
2回目	学位論文審査時 (1月8日～2月6日)	論文審査委員会主査	・レポートファイルを印刷し、盗用・剽窃の疑いがないかを確認した後、署名・捺印をし(必要があれば本人の説明文書とともに)保存する。 ・学位論文審査結果報告書にはチェックを行った日付を記入すること。
3回目	最終論文データ(CD-R)提出時 (～2月20日)	主任指導教員	・再度必ず「最終論文データ」を剽窃チェックすること。 ・(データ提出)レポートファイルはPDFで保存し、CD-Rに書き入れ、ケースに入れて学務係に提出。 ・(紙媒体提出)Originality Reportの%が記載されている部分の1枚目のページを印刷し、主任指導教員の署名・捺印、日付記入の上、こちらも学務係へ提出する。

剽窃チェックツールの機能として5回のチェックがかけられますが、少なくとも上記3回については必ずチェックを行いレポートを印刷してください。

大学院融合理工学府における剽窃チェックツールの取扱いに係る申し合わせ

平成30年6月29日

融合理工学府（理学系）教務委員会承認

平成30年7月6日

融合理工学府（工学系）学務委員会承認

実施者

主任研究指導教員または審査委員会主査（両名でも可）

剽窃チェック実施回数

3回

剽窃チェック実施時期

予備審査開始前

学位論文審査時

最終論文提出時

予備審査開始前

主任研究指導教員は、学位申請者から提出された論文に対し、剽窃チェックツールによるチェックを行う。また、チェック結果のレポートファイルを印刷し、盗用・剽窃の疑いのないことを確認し、チェックした日付け及び署名・捺印のうえ、必要に応じて本人の説明文書を予備審査委員会主査に提出するものとする。

学位論文審査時

博士学位論文審査時の剽窃チェック後、主任研究指導教員は、チェック結果のレポートファイルを印刷し、盗用・剽窃の疑いのないことを確認した旨の記入、チェックした日の記入及び署名・捺印したもの及び必要に応じて本人の説明文書を博士論文審査委員会主査に提出するものとする。

その後、学位論文審査委員会主査は、提出されたレポートファイルに問題がないことを確認したうえで署名・捺印し保存するとともに、博士学位論文審査結果の報告の際に、剽窃チェックを実施した日を報告書に記入するものとする。

最終論文提出時

主任研究指導教員は、学位論文最終稿に対し再度剽窃チェックを行い、学位論文審査委員会主査は、レポートファイルに問題がないことを確認する。

主任研究指導教員は、レポートファイルにチェックした日付け及び署名・捺印したものと、レポートをPDFに保存したCD-Rを学務担当者へ提出するものとする。

学務係への提出

主任研究指導教員→学務へ
（紙媒体）

最終論文で剽窃チェックを行なった **Originality Report** の%が記載されている部分の1枚目のページを印刷し、主任研究指導教員の署名、捺印、日付を記入したもの

（CD-ROM）

Originality Report のPDFデータ版



iThenticate User Manual

(ユーザー向けマニュアル)

Version:2.2

改版履歴

日付	版数	更新内容
2016 年 1 月 1 日	1.0	
2017 年 4 月 1 日	2.0	P.6 4. 「Password Reset」画面の変更 P.7 ※ログイン時の注意事項(個人利用の登録)の項を追加 P.9 チェックできるファイル形式に Excel と PowerPoint を追加 P.21 第 7 章アップロードした文書を削除する方法の章を追加
2017 年 8 月 1 日	2.1	P.8、P.9、P.24 文書をアップロードする際の画面の変更 P.9 チェックできるファイルサイズが 100MB に変更
2019 年 4 月 1 日	2.2	P4 システム要件の章を追加

目次

準備	システム要件	4
第1章	IThENTICATE のログイン方法	5
第2章	チェックする文書のアップロードの方法	8
第3章	チェックした文書の確認方法	11
3-1	「MATCH OVERVIEW」による文書の確認方法	11
3-2	「ALL SOURCES」による文書の確認方法	14
第4章	チェックした文書の出力方法	17
第5章	インターフェースを日本語にする方法	18
第6章	フォルダを追加する方法	19
第7章	アップロードした文書を削除する方法	21
7-1	ゴミ箱アイコンで削除する方法	21
7-2	「TRASH」ボタンで削除する方法	21
7-3	TRASH(ゴミ箱)に移動した文書を復元する方法	22
7-4	文書をサーバー上から削除する方法	23
第8章	リビジョン機能の利用方法	24

準備 システム要件

1. iThenticate のシステム要件は以下となっております。

・英語版

Microsoft® Windows® 7+, Mac OS X v10.4.11+

3GB of RAM or more

1024x768 display or higher

Broadband internet connection

We support the latest and one previous version of Chrome, Firefox, Safari, and Windows browsers.

Internet browser set to allow all cookies from ithenticate.com

Javascript enabled

・日本語版

Microsoft®Windows® 7 以上、Mac OS X v10.4.11 以上

RAM 3GB 以上

ディスプレイ 1024x768 以上

ブロードバンドインターネット接続

Chrome、Firefox、Safari、Windows ブラウザの最新バージョンと一つ前のバージョンをサポート

ithenticate.com からのすべての Cookie を許可するように設定されたインターネットブラウザ

Javascript 有効

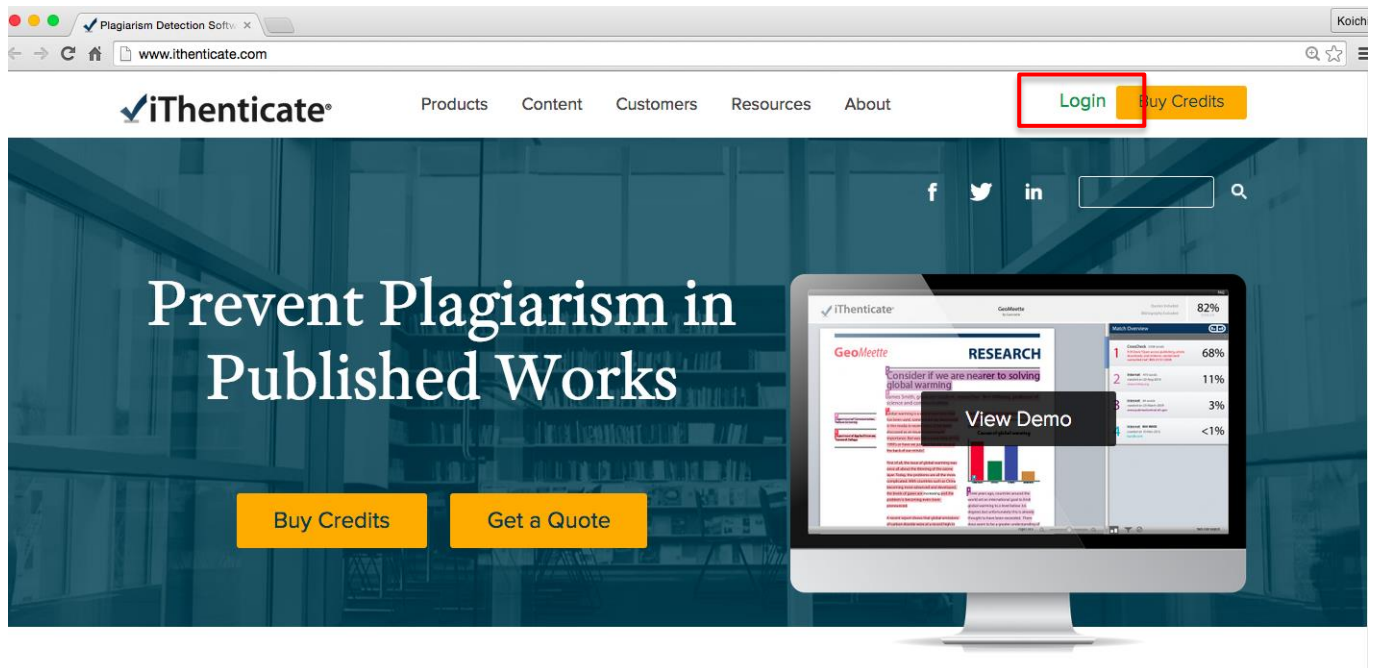
2. iThenticate のサイトの FAQ にも最新のシステム要件の記載があり更新されます。

3. 旧式のブラウザである Internet Explorer (IE) にて iThenticate を使用すると、ログインエラーやファイルアップロードエラー、チェック結果が表示できないなどの不具合が起きる可能性があります。他のブラウザを使用することを推奨いたします。

第1章 iThenticate のログイン方法

1. iThenticate サイトへ接続し、「Login」をクリックします。

<http://www.iThenticate.com/>



2. ID (Email) とパスワードを入力し、ログインします。

Login

Email *

Password *

[Forgot password](#)

☐ Remember me

Login

Don't have an account? [Sign Up](#)

- ※ 機関内で管理者がユーザー登録すると、noreply@ithenticate.com から下記の文面が届きます。
初回ログイン時には、文面に記載されている「Login」と「password」を入力してログインします。

iThenticateのご案内です。

Welcome Koji Yamada

Your iThenticate account has been created.

To begin using iThenticate please visit

https://app.ithenticate.com/en_us/login

You will log in using your email address and password:

Login:
Password:

This is a one-time password. You will be prompted to change this password when you first log in.

3. 初回ログイン時には「Turnitin End-User License Agreement」の画面に切り替わりますので、「I agree to these Terms」を選択し「SUBMIT」をクリックします。



You must agree to these terms before proceeding.

Turnitin End-User License Agreement

*Users who are not in the European Union refer to [Section A only](#).

**Users in the European Union refer to [Section B](#).

Protecting your personal data and privacy is our top priority. We are fully committed to transparency, accountability and using technology responsibly, no matter what changes emerge from our rapidly evolving digital world. We implement appropriate technical and organizational measures to protect your personal data.

*Section A (For Users who are not in the European Union)

Turnitin and its services (the "Site" or the "Services") are operated and maintained by Turnitin, LLC ("Turnitin"), and provided to you, the user ("You" or "User" or "End-User"), conditionally upon Your acceptance of the terms, conditions, and notices contained herein without modification (the "User Agreement"). Depending on the Turnitin solution utilized, references to "You", "student", or "End-User" shall include any person submitting papers through the Service, however they are defined.

I have read the above Terms and Conditions and •

☒ I agree to these Terms

☐ I do not accept the above Terms

SUBMIT

4. 「Password Reset」画面に切り替わります。

Password Reset

Your password must be changed before you can continue.

Enter your existing password

Current password *

先ほどのパスワードを入力します。

Pick a new password

New password *

新規パスワードを入力します。

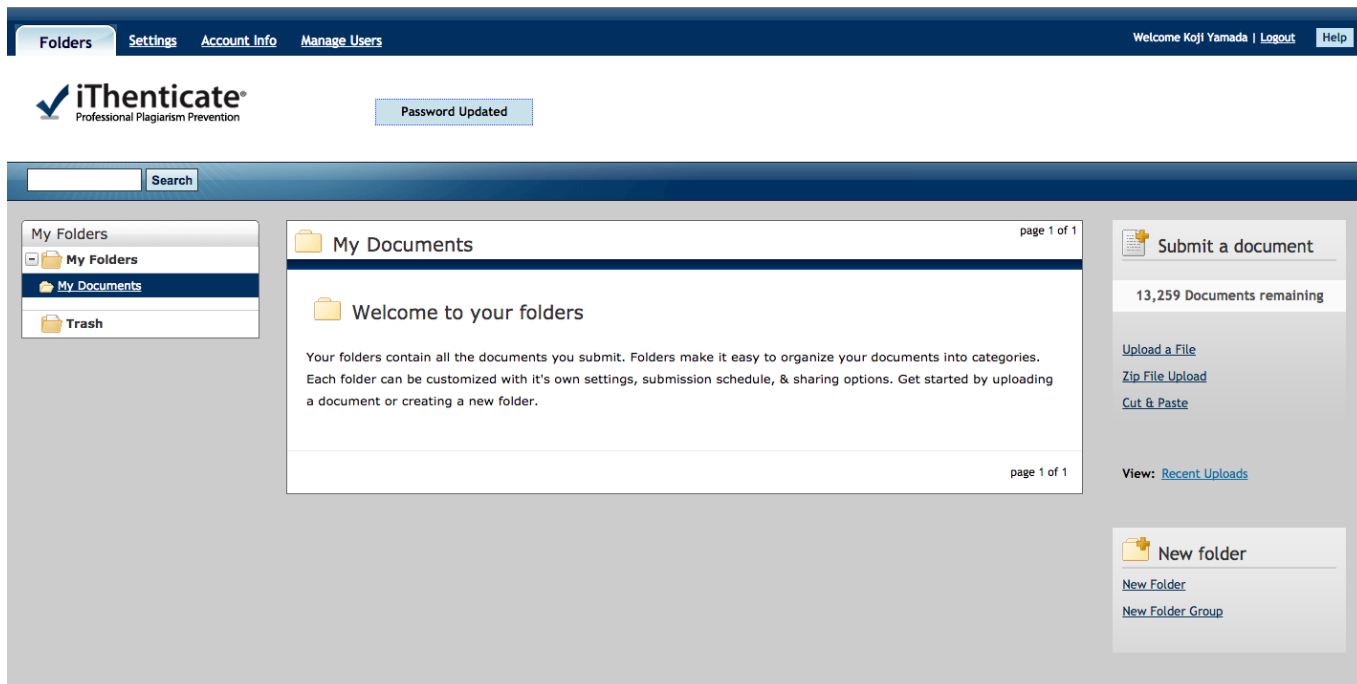
Retype your new password

Confirm new password *

確認のため、新規パスワードを再度入力します。

Change Password

5. iThenticate にログインできました。



※ ログイン時の注意事項(個人利用の登録)

<http://www.ithenticate.com/>の右上にある「Buy Credits」からユーザー登録をすると、個人で利用するためのアカウントが作成されます。個人利用で登録した Email アドレスは、機関での利用ができなくなります。

Login

Buy Credits

「Buy Credits」から誤って個人登録をした場合は、機関での利用ができなくなります。

またログイン画面の下に表示される「Don't have an account? [Sign Up](#)」をクリックした場合も個人登録の画面に入ります。誤って個人登録してしまった場合は、開発元で一旦ユーザーの削除をする必要がありますので、管理者までお問い合わせください。

Login

Email

Password
[Forgot password](#)

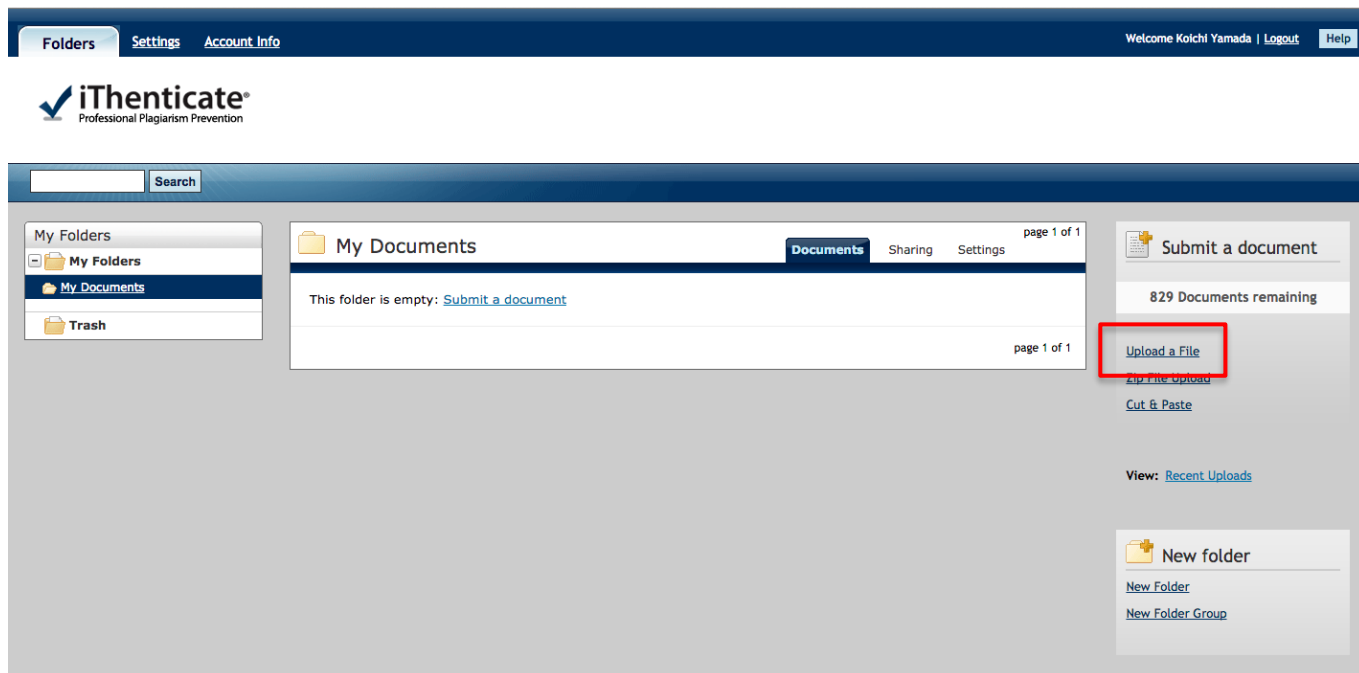
☐ Remember me

Don't have an account? [Sign Up](#)

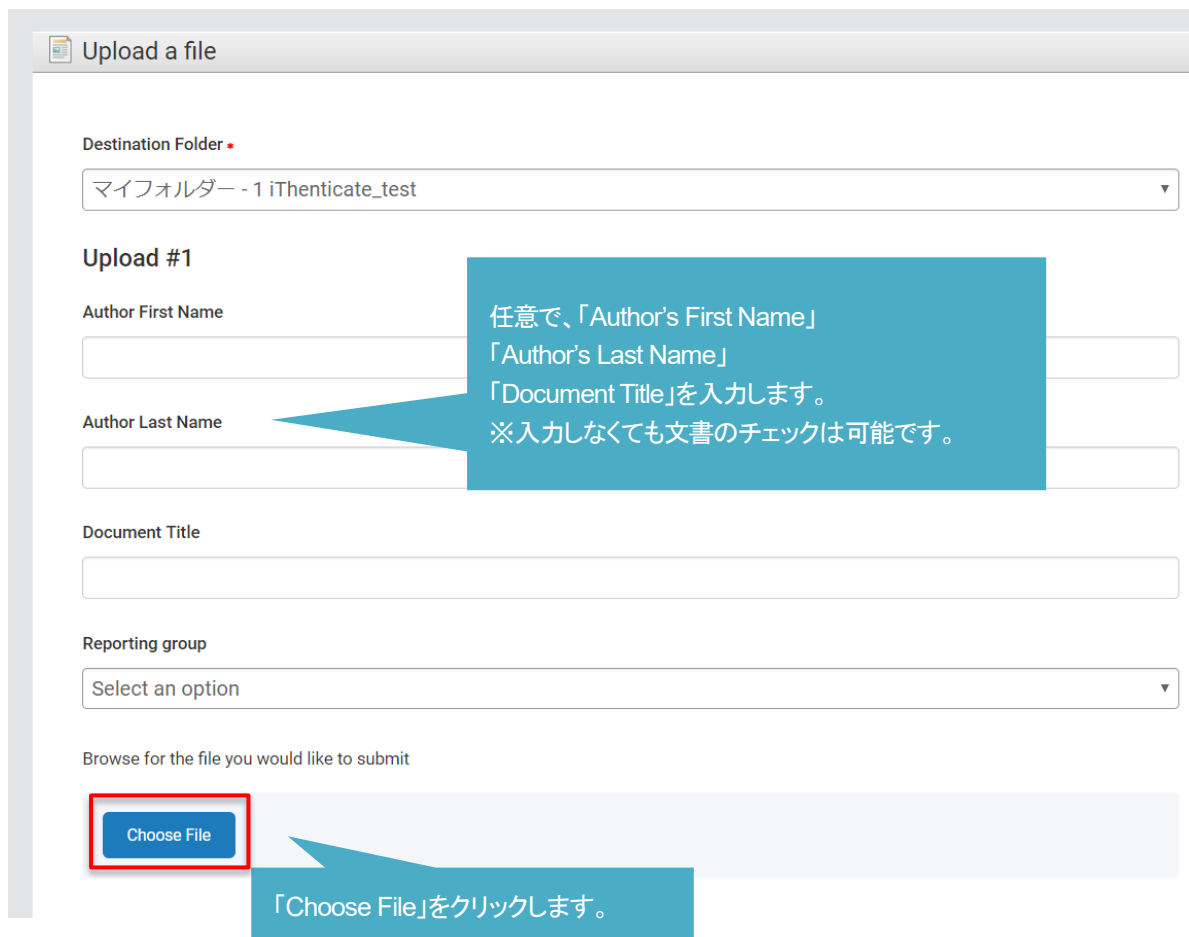
「Sign Up」から誤って個人登録をした場合は、機関での利用ができなくなります。

第2章 チェックする文書のアップロードの方法

1. iThenticate にログインして、「Upload a File」をクリックします。



2. 「Choose File」をクリックします。



The screenshot shows the 'Upload a file' form. It has a 'Destination Folder' dropdown menu set to 'マイフォルダー - 1 iThenticate_test'. Below it, there's a section for 'Upload #1' with input fields for 'Author First Name', 'Author Last Name', and 'Document Title'. A blue callout box points to the 'Author Last Name' field and contains the text: '任意で、「Author's First Name」「Author's Last Name」「Document Title」を入力します。 ※入力なくても文書のチェックは可能です。'. Below these fields is a 'Reporting group' dropdown menu set to 'Select an option'. At the bottom, there's a 'Browse for the file you would like to submit' section with a 'Choose File' button highlighted with a red box. A blue callout box points to the 'Choose File' button and contains the text: '「Choose File」をクリックします。'.

3. チェックする文書(ファイル)を選択し「Upload」をクリックします。



※ チェックできるファイル形式は以下となります。

Word, Text, PostScript, PDF, HTML, Excel, PowerPoint, WordPerfect WPD, OpenOffice ODT, RTF, Hangul HWP

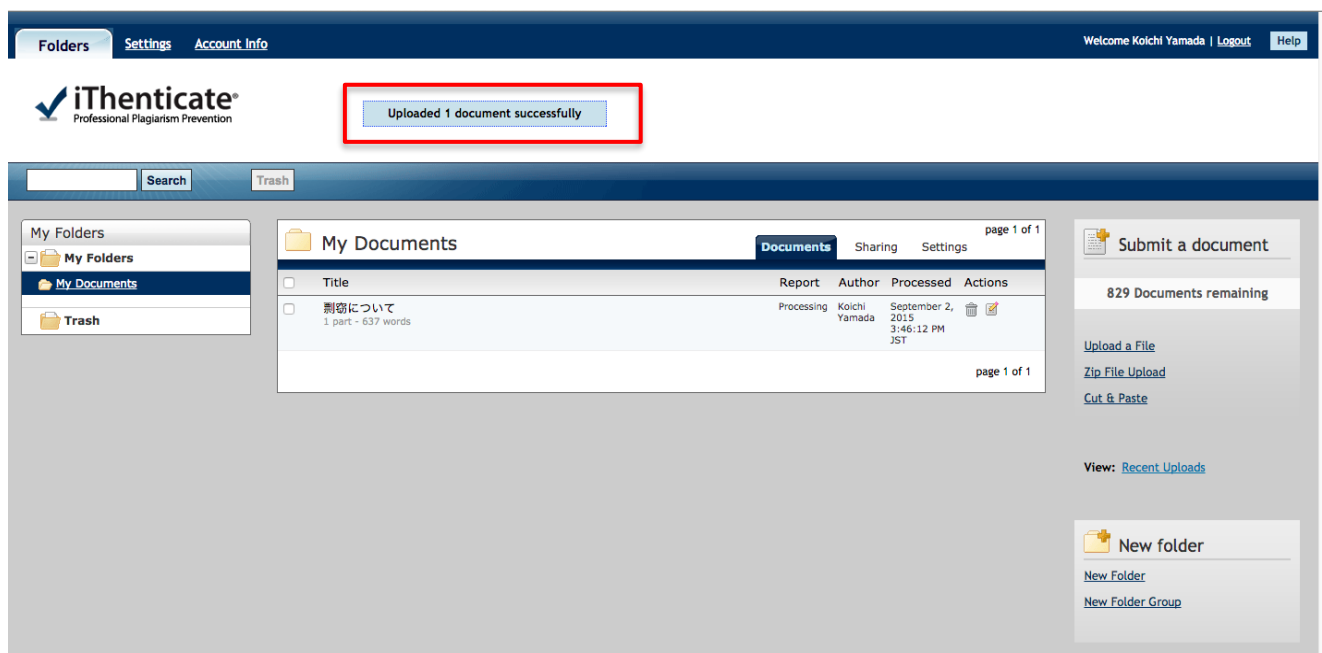
・1回でチェックできるファイルサイズは、100MB までとなります。

(画像で容量が大きくなっている場合は、テキスト部分を別ファイルにしてチェック(Upload)してください。)

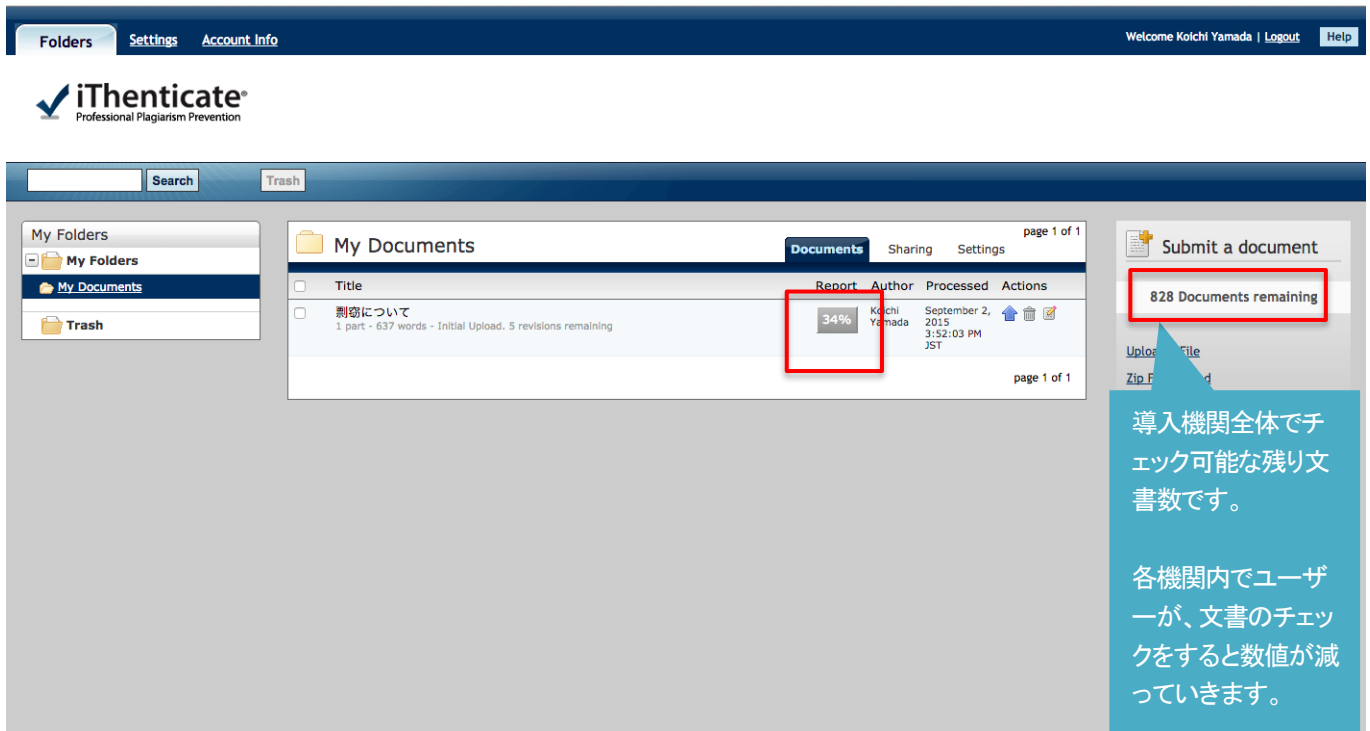
・1回でチェックできるページ数は、400 ページまでとなります。

また、25,000words 以上の文書は、2 件チェックしたとみなされます。(例:60,000words の場合:3 件チェック)

4. 文書のアップロードに成功すると、「Uploaded 1 document successfully」と表示されます。



5. 文書のチェックが終わると「%」で結果が表示されます。



The screenshot shows the iThenticate Professional Plagiarism Prevention interface. The top navigation bar includes 'Folders', 'Settings', and 'Account Info'. The user is logged in as 'Welcome Koichi Yamada'. The main content area is titled 'My Documents' and displays a table of documents. A red box highlights the 'Report' column, showing '34%' progress. Another red box highlights the 'Submit a document' button, which indicates '828 Documents remaining'. A blue callout box on the right explains that the remaining document count is the total number of documents that can be checked across all departments, and this number decreases as documents are checked by users within each department.

Title	Report	Author	Processed	Actions
剽窃について 1 part - 637 words - Initial Upload. 5 revisions remaining	34%	Koichi Yamada	September 2, 2015 3:52:03 PM JST	Download Delete Check

Submit a document
828 Documents remaining

導入機関全体でチェック可能な残り文書数です。

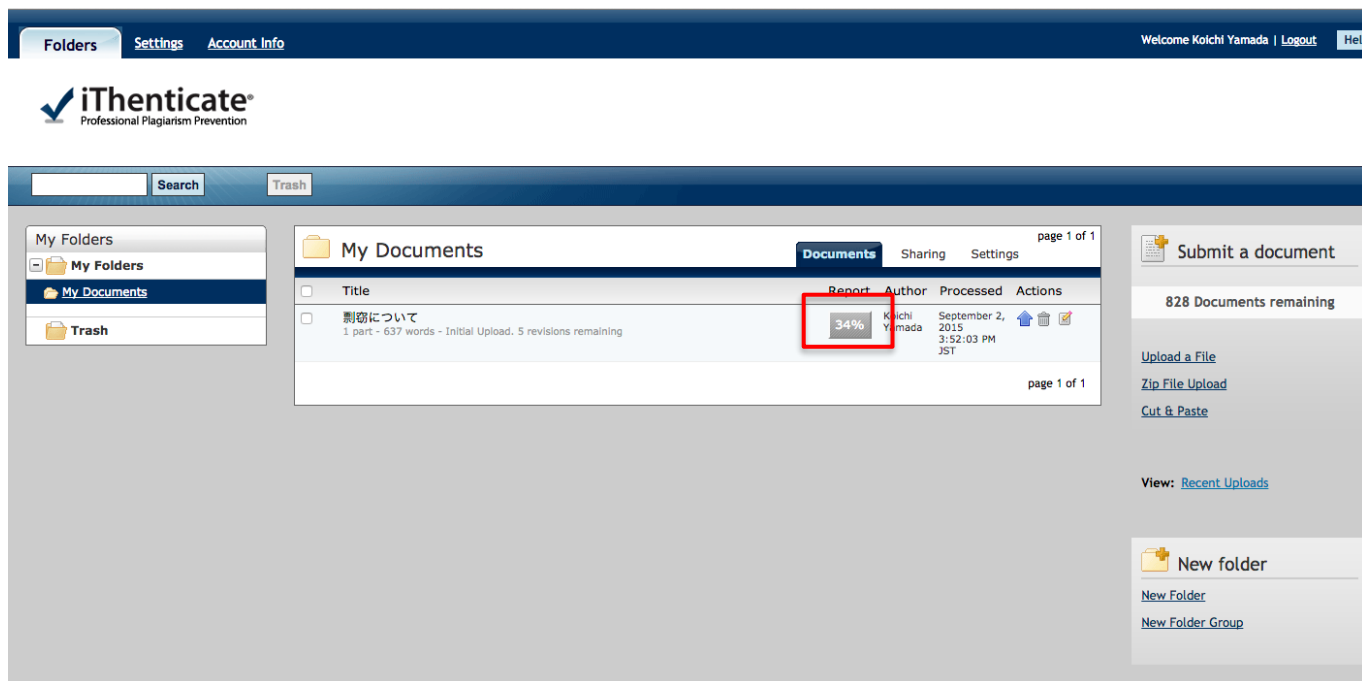
各機関内でユーザーが、文書のチェックをすると数値が減っていきます。

※ チェック時間の目安は、4～5 頁で約 3～4 分、100 頁で 30～45 分で結果が表示されます。

第3章 チェックした文書の確認方法

3-1 「Match Overview」による文書の確認方法

1. 「%」が表示されているボタンをクリックします。



2. チェックした文書の結果が表示され、「Match Overview」という表示方法で結果を表示します。
「34%」という数値は、アップロードした文書(チェックした文書)のうち「34%」が iThenticate のデータベースに入っているソース(学術誌掲載論文や Web ページ)とテキスト部分が一致したという結果を表示しています。

剽窃(ひようせつ, Plagiarism)は、他人の成果物をクレジット表示することなく取り込むことです[1]。この用語はよく混同されていますが、著作権侵害と同じ意味ではありません。著作権侵害は著作権保護下にある成果物について著作者の排他的権利を侵害して許可無く用いることです。

著作権の表示により行為が軽減されたりはしません[2]。同様に、パブリックドメインの著作物についても出典の明記無く用いた場合、著作権の問題がなくとも剽窃とみなされます。このガイドラインでは、コピーと似たパラフレーズ行為が問題とならない場合と、その剽窃リスクをどのように回避するか、そのような問題が生じた場合どう回避するかの方針を示します。

1. 他人の作品・学説などを自分のものとして発表すること
2. 既存の情報源から取ったアイディアや製品を新しいもの又はオリジナルなものとして表現すること。

学術情報のデジタル化とインターネットの普及により、無数の情報を簡単に参照できる現在、論文の剽窃は大きな問題になっています。

文書に色が付いている箇所は、iThenticate のデータベースと照合して一致した箇所をハイライトで表示しております。

「1」～「6」は、34%の内訳をそれぞれ表示しております。

3. ハイライトした文書上にある「1」をクリックします。

The screenshot shows the iThenticate interface. At the top, it displays '02-Sep-2015 03:46PM', '637 words • 6 matches • 6 sources', and 'FAQ'. The document title is '剽窃について' (Plagiarism) by 'BY KOICHI YAMADA'. The document content includes a definition of plagiarism and a list of two points. A red box labeled '1' highlights the first point. A blue arrow points from this box to the 'Match Overview' panel on the right. The panel shows a list of matches, with the first match (1) highlighted in red, corresponding to the highlighted text in the document. The match details are: 'Internet 129 words', 'crawled on 16-Apr-2015', 'ja.wikipedia.org', and a similarity score of 20%.

剽窃(ひようせつ, Plagiarism)は、他人の成果物をクレジット表示することなく取り込むことです[1]。この用語はよく混同されていますが、著作権侵害と同じ意味ではありません。著作権侵害は著作権保護下にある成果物について著作権者の排他的権利を侵害して許可なく用いることです。

1. 他人の作品・学説などを自分のものとして発表すること
2. 既存の情報源から取ったアイディアや製品を新しいもの又はオリジナルなものとして表現すること。

学術情報のデジタル化とインターネットの普及により、無数の情報を簡単に参照できる現在、論文の剽窃は大きな問題になっています。

Match Overview

Match	Source	Words	Similarity
1	Internet	129 words	20%
2	Internet	49 words	8%
3	Internet	11 words	2%
4	Internet	9 words	1%
5	Internet	9 words	1%
6	Internet	8 words	1%

4. 「1」と一致したソースをビューが開き表示します。

The screenshot shows the 'Full Source View' of the first match. The document content is the same as in the previous screenshot. A red box labeled '1' highlights the first point. A blue arrow points from this box to the 'Full Source View' panel on the right. The panel shows the full text of the first match, which is a Wikipedia article about plagiarism. The text is: '剽窃(ひようせつ, Plagiarism)は、他人の成果物をクレジット表示することなく取り込むことです[1]。この用語はよく混同されていますが、著作権侵害と同じ意味ではありません。著作権侵害は著作権保護下にある成果物について著作権者の排他的権利を侵害して許可なく用いることです。著作権の表示により行為が軽減されたりはしません[2]。同様に、パブリックドメインの著作物についても出典の明記無く用いた場合、著作権の問題がなくとも剽窃とみなされます。このガイドラインでは、コピーと似たパラフレーズ行為が問題とならない場合と、その剽窃リスクをどのように回避するか、そのような問題が生じた場合どう回避するかの方針を示します。Wikipediaの検証可能性の'.

剽窃(ひようせつ, Plagiarism)は、他人の成果物をクレジット表示することなく取り込むことです[1]。この用語はよく混同されていますが、著作権侵害と同じ意味ではありません。著作権侵害は著作権保護下にある成果物について著作権者の排他的権利を侵害して許可なく用いることです。著作権の表示により行為が軽減されたりはしません[2]。同様に、パブリックドメインの著作物についても出典の明記無く用いた場合、著作権の問題がなくとも剽窃とみなされます。このガイドラインでは、コピーと似たパラフレーズ行為が問題とならない場合と、その剽窃リスクをどのように回避するか、そのような問題が生じた場合どう回避するかの方針を示します。Wikipediaの検証可能性の'.

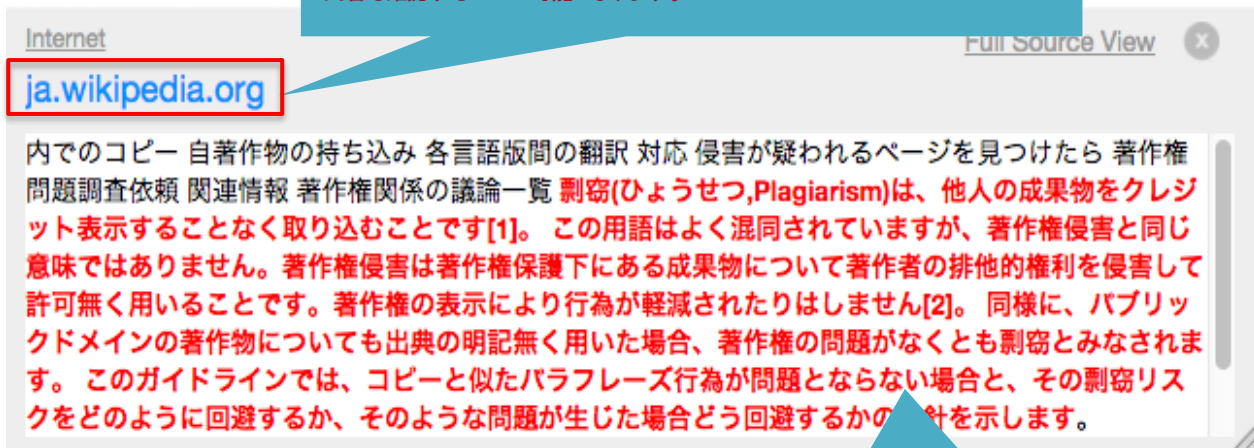
Full Source View

Internet
ja.wikipedia.org

内でのコピー 自著作物の持ち込み 各言語版間の翻訳 対応 侵害が疑われるページを見つけたら 著作権問題調査依頼 関連情報 著作権関係の議論一覧 剽窃(ひようせつ, Plagiarism)は、他人の成果物をクレジット表示することなく取り込むことです[1]。この用語はよく混同されていますが、著作権侵害と同じ意味ではありません。著作権侵害は著作権保護下にある成果物について著作権者の排他的権利を侵害して許可なく用いることです。著作権の表示により行為が軽減されたりはしません[2]。同様に、パブリックドメインの著作物についても出典の明記無く用いた場合、著作権の問題がなくとも剽窃とみなされます。このガイドラインでは、コピーと似たパラフレーズ行為が問題とならない場合と、その剽窃リスクをどのように回避するか、そのような問題が生じた場合どう回避するかの方針を示します。Wikipediaの検証可能性の'.

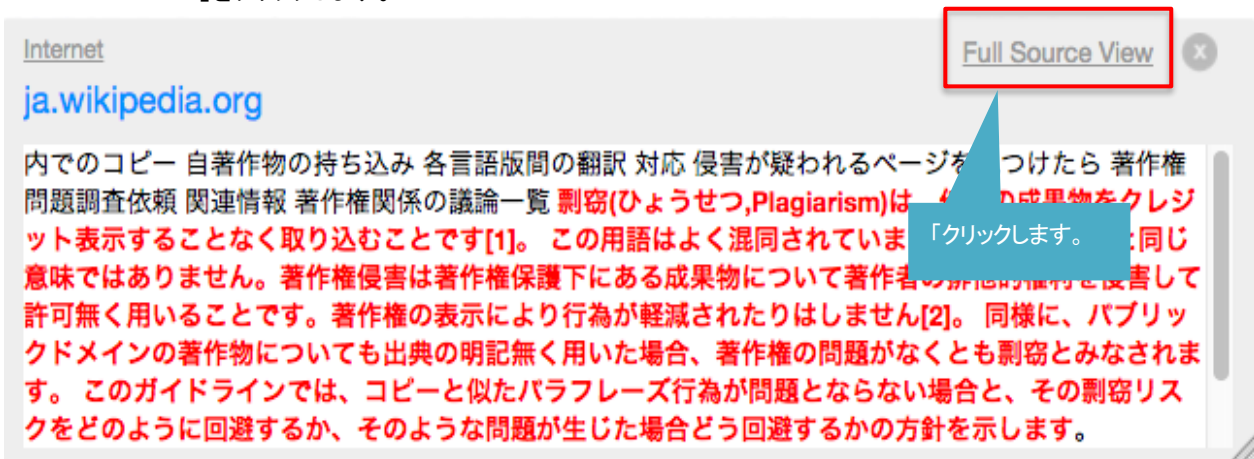
5. 表示されたビューワを確認します。

上部に表示された URL をクリックすると該当したソースのサイトを表示します。
 ※ 有料の学術誌と一致した際は、機関でその学術誌を購入していれば その内容も確認することが可能となります。



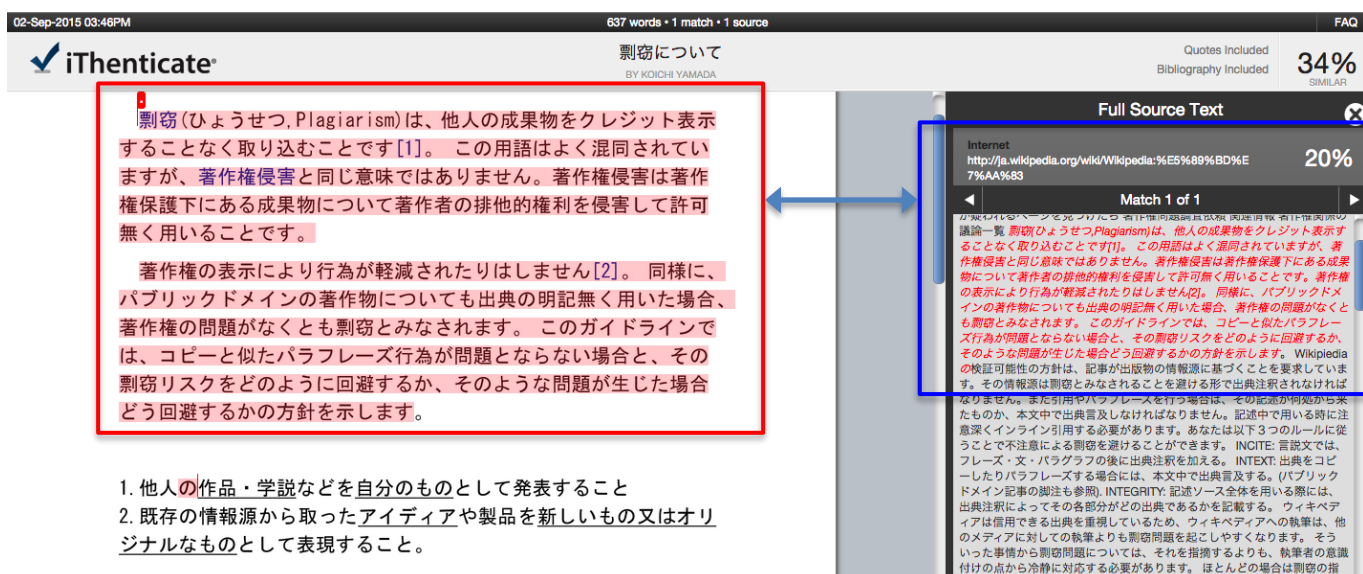
テキストが一致したところを表示します。

6. 「Full Source View」をクリックします。



7. 「Full Source View」を表示することにより、サイドバイサイドで文書の内容を確認することが可能です。

※ 「Full Source View」は、インターネットと一致した場合のみ表示することが可能です。



3-2 「All sources」による文書の確認方法

1. 「All Sources」では、iThenticate に含まれている全てのソースを表示します。

02-Sep-2015 03:46PM 637 words • 1 match • 95 sources

剽窃について
BY KOICHI YAMADA

剽窃(ひょうせつ, Plagiarism)は、他人の成果物をクレジット表示することなく取り込むことです[1]。この用語はよく混同されていますが、著作権侵害と同じ意味ではありません。著作権侵害は著作権保護下にある成果物について著作者の排他的権利を侵害して許可無く用いることです。

著作権の表示により行為が軽減されたりはしません[2]。同様に、パブリックドメインの著作物についても出典の明記無く用いた場合、著作権の問題がなくとも剽窃とみなされます。このガイドラインでは、コピーと似たパラフレーズ行為が問題とならない場合と、その剽窃リスクをどのように回避するか、そのような問題が生じた場合どう回避するかの方針を示します。

1. 他人の作品・学説などを自分のものとして発表すること
2. 既存の情報源から取ったアイデアや製品を新しいもの又はオリジナルなものとして表現すること。

学術情報のデジタル化とインターネットの普及により、無数の情報を簡単に参照できる現在、論文の剽窃は大きな問題になっています。

Q1. 自分の過去及び将来の作品又は学説は剽窃にならない？
Q2. 文形は異なっているが、表現している内容又はアイデアやコン

Quoted Included Bibliography Included 34% SIMILAR

All Sources Match 1 of 1

Source	Words	Match	Similarity
Internet 129 words crawled on 16-Apr-2015 ja.wikipedia.org	129	1	20%
Internet - 3 sources 96 words crawled on 21-Feb-2015 wc2014.2ch.net	96	3	15%
Internet 88 words crawled on 29-Jul-2014 2chleak.net	88	1	14%
Internet 84 words crawled on 11-Dec-2014 fox.2ch.net	84	1	13%
Internet 84 words crawled on 01-Jun-2014 matomeru2ch.com	84	1	13%
Internet - 2 sources 84 words crawled on 06-Oct-2014 maguro.2ch.net	84	2	13%

Exclude Sources

2. 「Exclude Sources」を利用して、チェック後 問題ないソースを外すことが可能です。

02-Sep-2015 03:46PM 637 words • 1 match • 95 sources

剽窃について
BY KOICHI YAMADA

剽窃(ひょうせつ, Plagiarism)は、他人の成果物をクレジット表示することなく取り込むことです[1]。この用語はよく混同されていますが、著作権侵害と同じ意味ではありません。著作権侵害は著作権保護下にある成果物について著作者の排他的権利を侵害して許可無く用いることです。

著作権の表示により行為が軽減されたりはしません[2]。同様に、パブリックドメインの著作物についても出典の明記無く用いた場合、著作権の問題がなくとも剽窃とみなされます。このガイドラインでは、コピーと似たパラフレーズ行為が問題とならない場合と、その剽窃リスクをどのように回避するか、そのような問題が生じた場合どう回避するかの方針を示します。

1. 他人の作品・学説などを自分のものとして発表すること
2. 既存の情報源から取ったアイデアや製品を新しいもの又はオリジナルなものとして表現すること。

学術情報のデジタル化とインターネットの普及により、無数の情報を簡単に参照できる現在、論文の剽窃は大きな問題になっています。

Q1. 自分の過去及び将来の作品又は学説は剽窃にならない？
Q2. 文形は異なっているが、表現している内容又はアイデアやコン

Quoted Included Bibliography Included 34% SIMILAR

All Sources Match 1 of 1

Source	Words	Match	Similarity
Internet 129 words crawled on 16-Apr-2015 ja.wikipedia.org	129	1	20%
Internet 126 words crawled on 11-Dec-2014 uni.2ch.net	126	1	20%
Internet - 3 sources 126 words crawled on 20-Apr-2015 www.uni.2ch.net	126	3	20%
Internet - 3 sources 96 words crawled on 21-Feb-2015 wc2014.2ch.net	96	3	15%
Internet 88 words crawled on 29-Jul-2014 2chleak.net	88	1	14%
Internet 84 words crawled on 11-Dec-2014 fox.2ch.net	84	1	13%
Internet 84 words crawled on 01-Jun-2014 matomeru2ch.com	84	1	13%
Internet - 2 sources 84 words crawled on 06-Oct-2014 maguro.2ch.net	84	2	13%

Exclude Sources

Exclude Sources をクリックします。

3. 一致した各ソースの内容を確認して、問題がない場合は☑を入れて各ソースを外し「%」を下げるが可能です。

The screenshot shows the iThenticate interface. On the left, a document titled "剽窃について" (On Plagiarism) by KOICHI YAMADA is displayed. The document contains text about plagiarism and copyright. On the right, a panel titled "All Sources" shows a list of matches. The first three matches are selected with checkboxes. At the bottom of the sources list, a red box highlights the "Exclude (5)" button. A blue callout bubble points to this button with the text "Exclude をクリックします。" (Click Exclude).

4. 選択されたソースが外れ、「%」が下がりました。

The screenshot shows the iThenticate interface after excluding sources. The overall similarity percentage has decreased from 34% to 29%, which is highlighted by a red box. The "All Sources" panel now shows a different list of matches. A blue callout bubble points to the new list with the text "選択されたソースが外れ、「%」が下がりました。" (Selected sources are excluded, and the percentage has decreased). At the bottom of the sources list, a red box highlights the "Exclude Sources" button. A blue callout bubble points to this button with the text "一度、外したソースはこのボタンから再度、表示することが可能です。" (Once excluded, sources can be displayed again from this button).

5. フィルタ設定で、「引用」「参考文献」「小さな適合率」「抄録」「Methods」等を自動で外すことができます。

※ この機能は、あくまで機械的に処理を行いますので完全に外すことはできません。

この機能は、iThenticate の利用に慣れてから利用してください。

02-Sep-2015 03:46PM 637 words • 0 matches • 95 sources

剽窃について
BY KOICHI YAMADA

Quotes Included
Bibliography Included 34%

Filters & Settings

FILTERS

Exclude Quotes ☐

Exclude Bibliography ☐

Exclude sources that are less than:

☐ words

☐ %

☒ Don't exclude by size

Exclude matches that are less than:

☐ words

☒ Don't exclude

Exclude Sections:

Abstract ☐

Methods and Materials ☐

Includes variations: Methods, Method, Materials, Materials and Methods

Apply Changes

PAGE: 1 OF 2

Text-Only Report

このボタンをクリックすると、上記の設定画面が表示されます。

6. 設定の詳細は以下の通りとなります。

Exclude Quotes →引用を除外するかどうか ☐

Exclude Bibliography →参考文献を除外するかどうか ☐

Exclude sources that are less than:

☐ words

☐ % →指定%及び語数によるソースの除外

☒ Don't exclude by size

Exclude matches that are less than:

☐ words

☒ Don't exclude →指定語数による除外

Exclude Sections:

Abstract →抄録を除外するかどうか ☐

Methods and Materials →メソッドを除外するかどうか ☐

Includes variations: Methods, Method, Materials, Materials and Methods

第4章 チェックした文書の出力方法

1. 下記「出力ボタン」をクリックします。

The screenshot displays the iThenticate web interface. At the top, it shows the date '02-Sep-2015 03:46PM', the document title '剽窃について' (Plagiarism), and the author 'BY KOICHI YAMADA'. The similarity score is '34%'. The main content area shows a document with a highlighted section about plagiarism. A red box highlights the 'Print' button in the bottom left corner. A blue callout box points to the button with the text 'このボタンをクリックすると、出力ができます。' (Clicking this button allows you to output the document). The right sidebar shows a list of sources with their respective similarity percentages.

Source	Words	Similarity
Internet	129 words	20%
Internet	126 words	20%
Internet - 3 sources	126 words	20%
Internet - 3 sources	96 words	15%
Internet	88 words	14%
Internet	84 words	13%
Internet	84 words	13%
Internet - 2 sources	84 words	13%

このボタンをクリックすると、出力
ができます。

2. 「PDF ファイル」で出力されました。

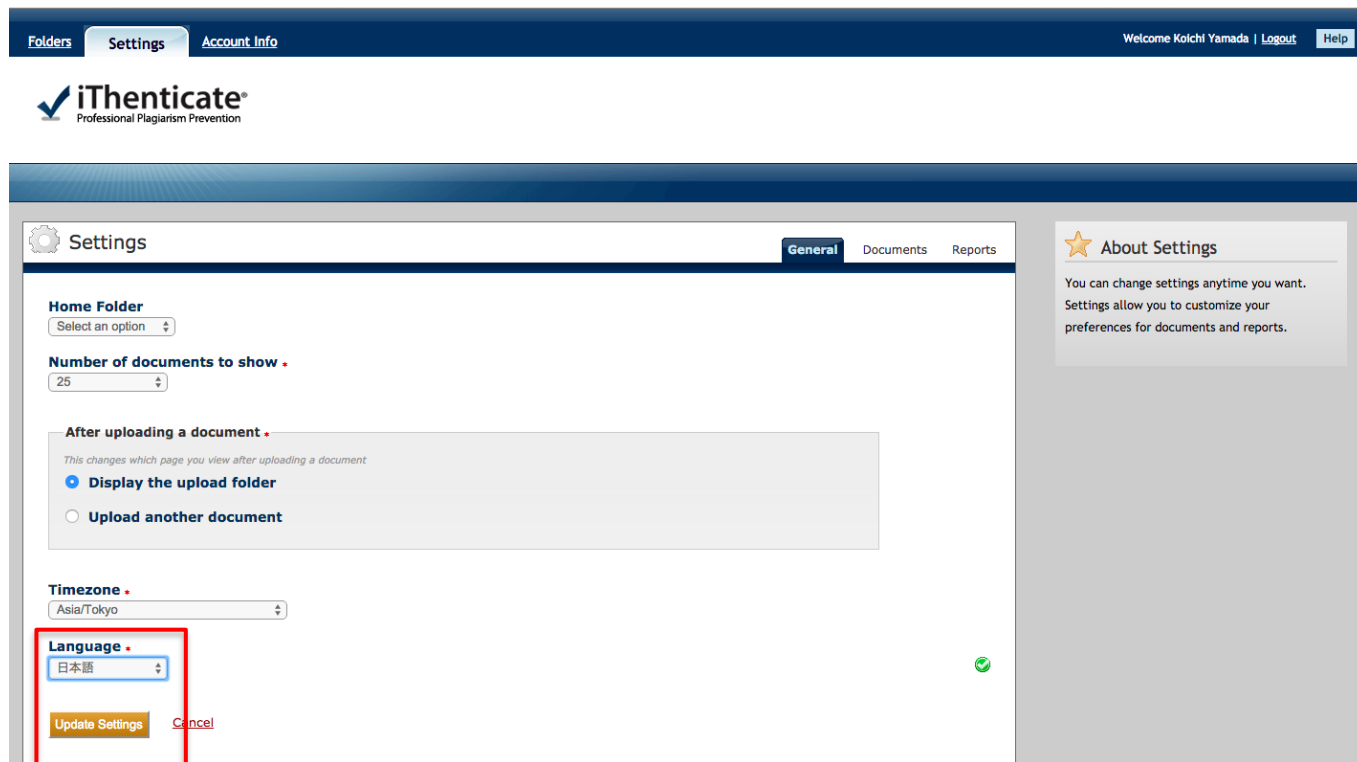
1 剽窃(ひょうせつ, Plagiarism)は、他人の成果物をクレジット表示することなく取り込むことです[1]。この用語はよく混同されていますが、著作権侵害と同じ意味ではありません。著作権侵害は著作権保護下にある成果物について著作者の排他的権利を侵害して許可無く用いることです。

著作権の表示により行為が軽減されたりはしません[2]。同様に、パブリックドメインの著作物についても出典の明記無く用いた場合、著作権の問題がなくとも剽窃とみなされます。このガイドラインでは、コピーと似たパラフレーズ行為が問題とならない場合と、その剽窃リスクをどのように回避するか、そのような問題が生じた場合どう回避するかの方針を示します。

- 2 1. 他人の作品・学説などを自分のものとして発表すること
2. 既存の情報源から取ったアイデアや製品を新しいもの又はオリジナルなものとして表現すること。

第5章 インターフェースを日本語にする方法

1. 「Settings」タブを選択して、Language を「日本語」選択し「Update Settings」をクリックします。

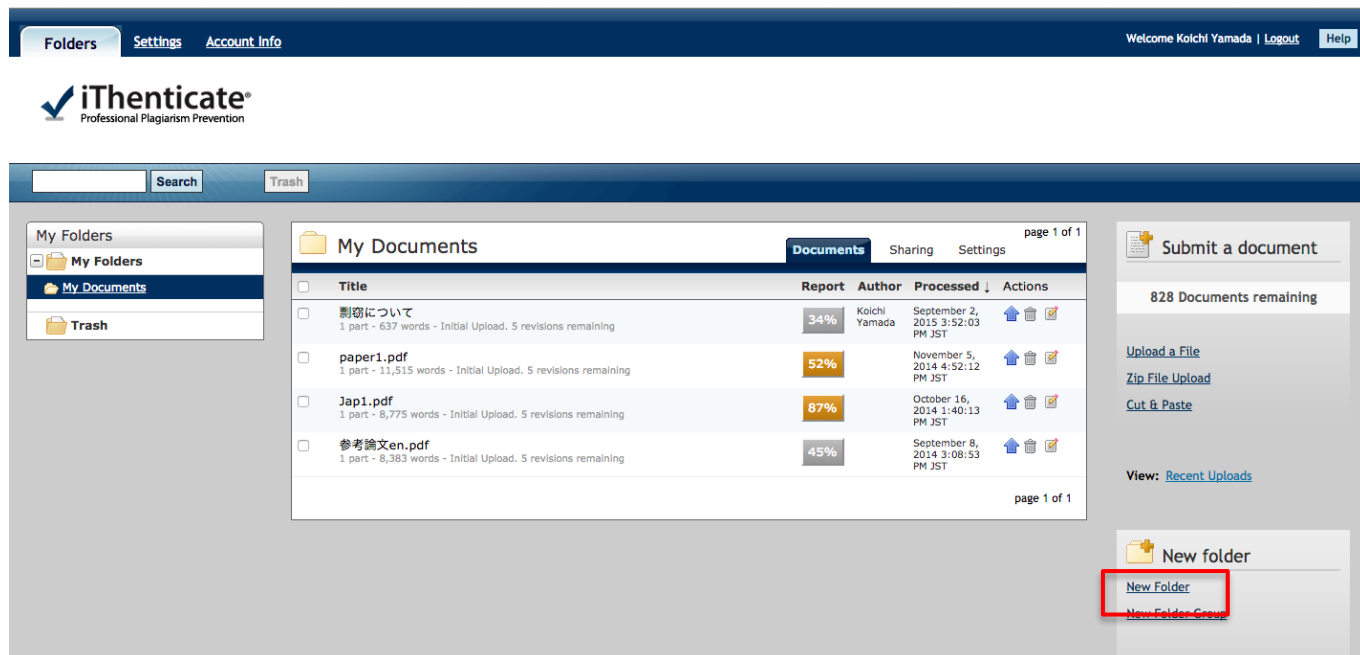


2. ユーザーインターフェースが「日本語」に切り替わりました。

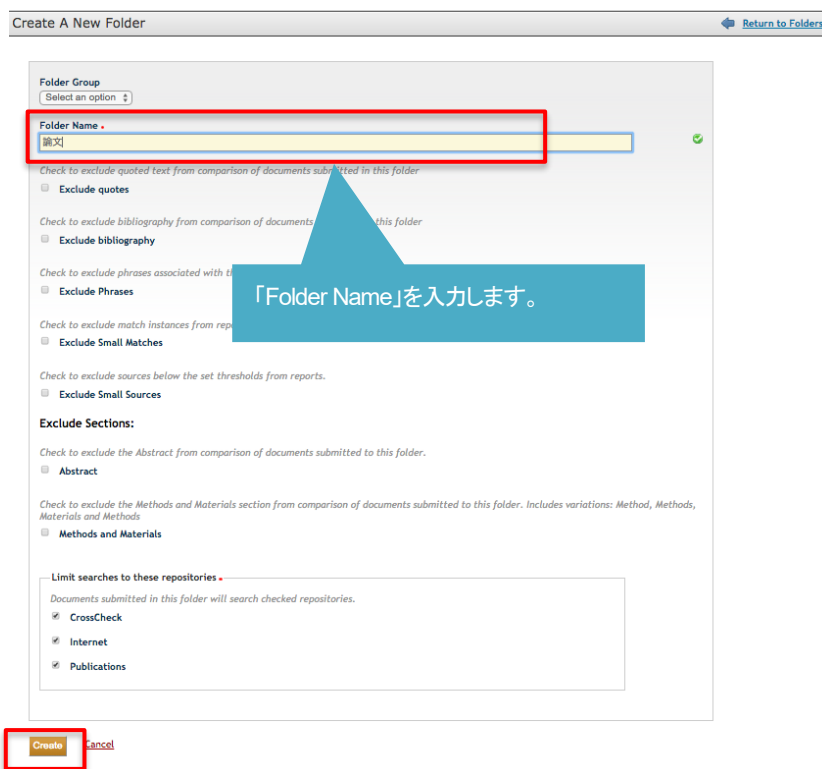


第6章 フォルダを追加する方法

1. チェック後の文書はフォルダに格納されますが、フォルダを追加して「新しいフォルダ」に文書を分類することができます。「New Folder」をクリックします。



2. 「Folder Name」を入力し「Create」ボタンをクリックします。
※ 各種設定につきまして最初はデフォルトの状態を利用していただき、iThenticate の利用に慣れたら設定を変えてご利用ください。



「Create」をクリックします。

3. 「Folder」が追加されました。

[Folders](#)
[Settings](#)
[Account Info](#)

Welcome Koichi Yamada | [Logout](#) | [Help](#)



Folder created

[Search](#)

My Folders

My Folders

My Documents

論文

Trash

論文

Documents

Sharing

Settings

page 1 of 1

This folder is empty: [Submit a document](#)

page 1 of 1

Submit a document

828 Documents remaining

[Upload a File](#)
[Zip File Upload](#)
[Cut & Paste](#)

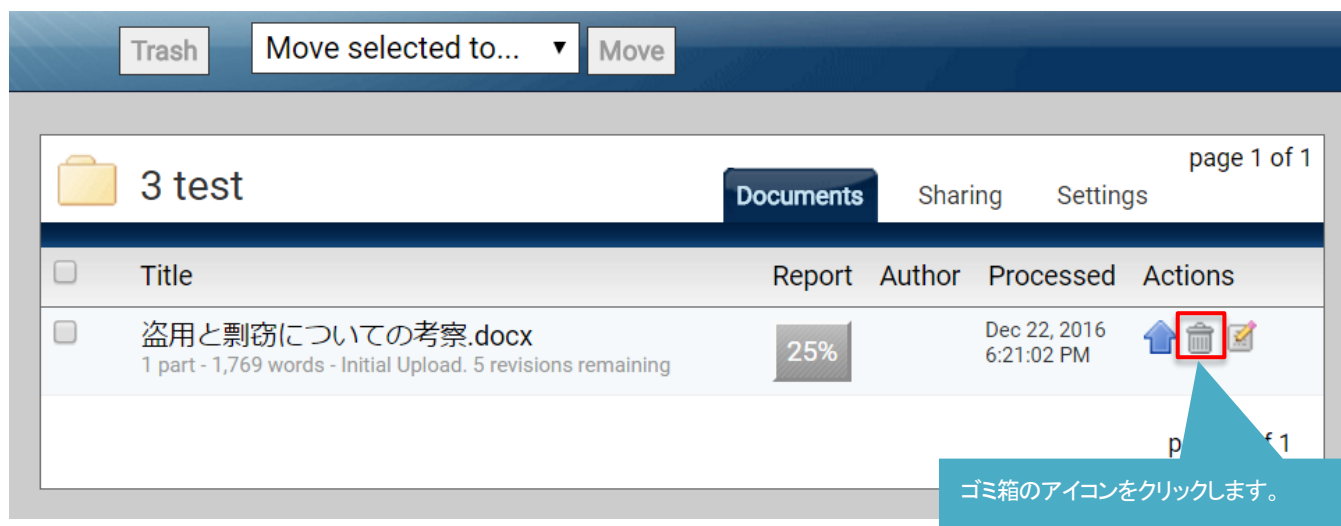
View: [Recent Uploads](#)

第7章 アップロードした文書を削除する方法

アップロードした文書(ファイル)を削除することができます。文書は Trash(ゴミ箱)に移動し、Trash 内で削除することにより、サーバー上から削除されます。文書は Trash に移動して、削除していなければ復元する事ができます。

7-1 ゴミ箱アイコンで削除する方法

アップロードした文書の右横に表示されるゴミ箱のアイコンをクリックします。これで文書を Trash(ゴミ箱)に移動することができます。



7-2 「Trash」ボタンで削除する方法

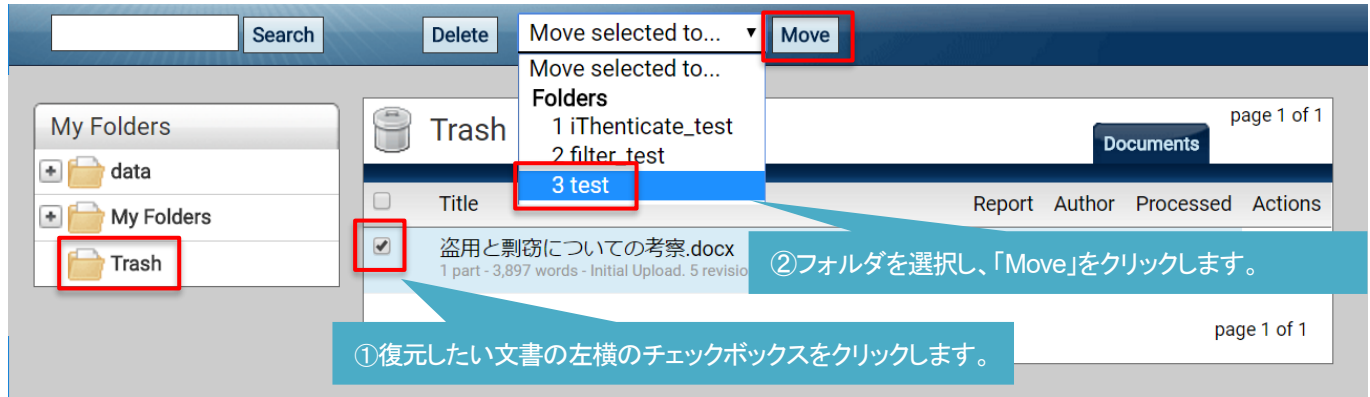
文書の左横のチェックボックスをクリックし、「Trash」ボタンをクリックします。これで文書をゴミ箱に移動することができます。複数の文書にチェックを入れて「Trash」ボタンをクリックすれば、複数の文書を同時に Trash(ゴミ箱)へ移動できます。また「Title」の左横のチェックボックスをクリックすると、フォルダ内の全文書を選択することができます。



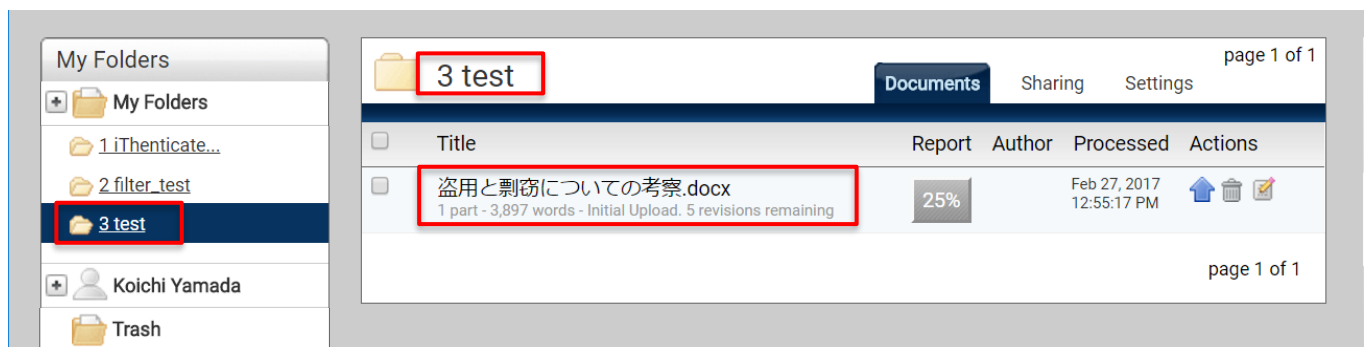
7-3 Trash(ゴミ箱)に移動した文書を復元する方法

7-1、7-2 の方法で文書を Trash(ゴミ箱)に移動した場合、文書を復元する事が可能です。

1. 「My Folders」内の「Trash」をクリックして Trash 内の文書を表示し、復元したい文書の左横のチェックボックスをクリックし、「Move selected to ...」から、フォルダを選択して「Move」をクリックします。



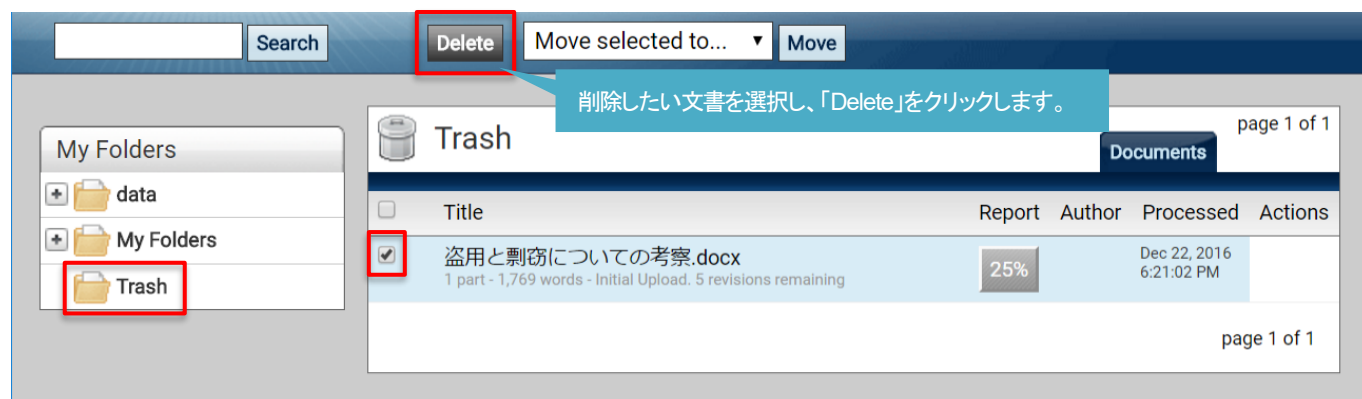
2. 選択したフォルダ内に、文書が復元されました。



7-4 文書をサーバー上から削除する方法

7-1、7-2 の方法で文書を Trash(ゴミ箱)に移動した場合、文書はサーバー上からは削除されていません。文書をサーバー上から削除するには、Trash 内で文書を削除する必要があります。

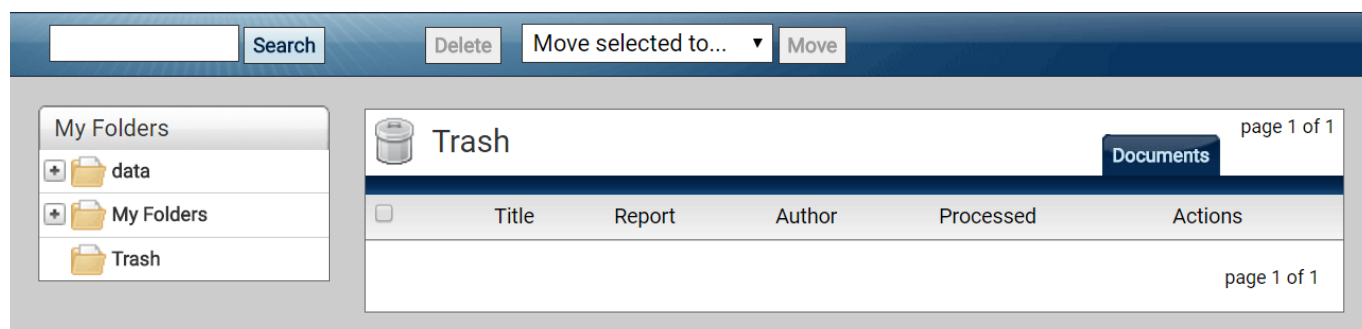
1. 「My Folders」内の「Trash」をクリックして Trash 内の文書を表示し、削除したい文書の左横のチェックボックスをクリックし、「Delete」をクリックします。



2. これで文書はサーバー上から削除されました。復元することは不可能ですので、Trash(ゴミ箱)から文書を削除する際はご注意ください。



Selected document(s) permanently deleted.



第8章 リビジョン機能の利用方法

※ リビジョン機能をオプションとして導入している機関のみご利用が可能となります。

1. リビジョン機能をご利用することにより、一度アップロードした文書と内容が 60%以上同じであれば 5 回まで再チェックが可能となりチェック結果が上書きされます。**(機関全体で、チェック可能な残り文書を減らすことなく再チェックが可能となります)**
ご利用の方法は、アップロードした文書結果の横に表示される「青い矢印ボタン」をクリックします。

Title	Report	Author	Processed	Actions
剽窃について.pdf 1 part - 714 words - Initial Upload. 5 revisions remaining	36%		November 17, 2015 2:03:21 PM JST	
paper1.pdf 1 part - 11,515 words - Initial Upload. 5 revisions remaining	52%		November 5, 2014 4:52:12 PM JST	
Jap1.pdf 1 part - 8,775 words - Initial Upload. 5 revisions remaining	87%		October 16, 2014 1:40:13 PM JST	
参考文献en.pdf 1 part - 8,383 words - Initial Upload. 5 revisions remaining	45%		September 8, 2014 3:08:53 PM JST	

2. 「Choose File」をクリックし、チェックする文書(ファイル)を再選択し「Upload」をクリックします。

Upload a New Revision

Your revision should show a certain percentage of similarity to the original submission. If the revision is too different from the original submission, that revision will not be accepted. - You may also [paste a document](#).

For document:
剽窃について.docx

Use this form to upload a new version of a previously-uploaded document. This upload will replace the previous document

Document information

Author First Name

Author Last Name

Document Title

Reporting group

Browse for the file you would like to submit

3. 再度結果が表示されました、リビジョン機能を 1 回利用したので残り 4 回利用できます。

My Documents

Documents

Sharing

Settings

☐	Title	Report	Author	Processed ↓	Actions
☐	剽窃について.pdf 1 part - 680 words - revision 1 of 5	33%		December 30, 2015 9:57:33 PM JST	
☐	paper1.pdf 1 part - 11,515 words - Initial Upload. 5 revisions remaining	52%		November 5, 2014 4:52:12 PM JST	
☐	Jap1.pdf 1 part - 8,775 words - Initial Upload. 5 revisions remaining	87%		October 16, 2014 1:40:13 PM JST	
☐	参考論文en.pdf 1 part - 8,383 words - Initial Upload. 5 revisions remaining	45%		September 8, 2014 3:08:53 PM JST	

全 5 回再チェック可能なうち、1 回再チェックを行ったと表示されます。

page 1 of 1

4. 直前にアップロードした文書と 60%以上文書が同じでない場合は、同一の文書とみなされず下記の通り、リビジョン機能はご利用できません。
- ※ 通常のアップロード(第 2 章)をご利用下さい。

My Documents

Documents

Sharing

Settings

☐	Title	Report	Author	Processed ↓	Actions
☐	剽窃について.pdf	Failed		December 30, 2015 10:17:50 PM JST	
☐	剽窃について.pdf 1 part - 680 words - revision 1 of 5	33%		December 30, 2015 9:57:33 PM JST	
☐	paper1.pdf 1 part - 11,515 words - Initial Upload. 5 revisions remaining	52%		November 5, 2014 4:52:12 PM JST	
☐	Jap1.pdf 1 part - 8,775 words - Initial Upload. 5 revisions remaining	87%		October 16, 2014 1:40:13 PM JST	
☐	参考論文en.pdf 1 part - 8,383 words - Initial Upload. 5 revisions remaining	45%		September 8, 2014 3:08:53 PM JST	

page 1 of 1

※ リビジョン機能は、元の文書(ファイル)を Trash(ゴミ箱)に移動したり、削除するとご利用できません。文書をフォルダに格納してある状態をご利用ください。